

千代田 × S D G S ハンドブック



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

はじめに



誰一人取り残さない「leave no one behind」というテーマを掲げる国際目標SDGsを達成するためには、すべての人が協力をしなければならないと考えています。SDGsには環境、教育、ジェンダー問題など世界の17個の課題があげられ、多くの国・企業などが課題達成に貢献しようと活動を行っています。

しかし、誰一人取り残さないためには、国や企業、大人だけが取り組むのではなく、すべての人が協力しなければおけません。そこで、本校の生徒会ではSDGsへの貢献活動を行っています。私たち生徒会ではSDGsを知るだけでなく、行動を起こすことを重視しながら活動をしています。生徒会が主体となって活動を行うことで、多くの生徒や地域の方に協力してもらうことができます。体育祭・籐華祭などとSDGsを結ぶことによって楽しく学べ、その目標がどのようなものなのか体験することができます。また企業・大学などと協力することで、本格的なプロジェクトを行うことができ、より多くの人に貢献することができます。私たち生徒会は「誰もが取り組まなければならない」のではなく、「誰もが取り組むことのできる」国際目標として、これからも活動をしていきます。

この冊子は、今までに本校の生徒や生徒会が行った活動をまとめたものです。この冊子を通してより多くの方がSDGsについて知り、行動につなげてほしいと考えています。

2019年度生徒会 会長 菊池隆聖

SDGsとは

2015年、国連サミットにおいてSDGs（持続可能な開発目標）が採択されました。「誰一人取り残さない」という考えに基づいて定められた17の目標は、よりよい未来を創るためにあります。

武蔵野大学附属千代田高等学院・千代田女学園では、2017年に国連グローバル・コンパクトの正会員となり、SDGsの達成に取り組んでいます。



千代田の学園の心のなかには「温情」という言葉があります。「温情」とは、思いやりのある寛大な心のことを示します。

この学園の心に則り、千代田では毎月感謝献金を集めています。集めたお金は貧困で苦しんでいる人の支援や慈善事業などに使われます。

感謝献金を用いた慈善活動の一つに「東北支援ボランティア」があります。千代田では2011年3月の震災以来、東北の支援を続けてきました。

これからも「温情」の教えのもと、貧困をなくすためのアクションを起こしていきます。



2 飢餓をゼロに



現在、世界の9人に1人が飢餓・飢えに苦しんでいます。しかし、日本では年間646万トンの食品ロス量が排出されています。これは世界の食料援助量の2倍に匹敵する量です。



そこで、わたしたちは「飢餓をゼロに」の目標達成に向けて、フードバンクを定期的に行っていく予定です。フードバンクとは、包装破損や印字ミス、過剰在庫、規格外品などの理由から販売できないものや、家庭で保存されたままの食品を困っている方に提供することによって、食品ロスと飢餓を共に解決していこうという活動です。

3 すべての人に健康と福祉を



現在、日本では「人生100年時代」と言われるほど、平均寿命が高齢化しています。しかし、世界を見渡すと、貧しい国では出生率も低く、子どもの死亡率も高くなっています。まだまだすべての人に健康と福祉は保障されていません。千代田では模擬国連を通して、さまざまな国の視点から社会問題を考える学習に取り組んでいます。決して「私たち」さえ満足すればよいのではなく、「すべての人」の健康と福祉を実現しなければならないのです。



千代田には、質の高い教育を受ける為に必要な環境が整っています。その一例として、ARC (Academic Resource Center)があげられます。ARCとはICT教育環境と図書を統合した施設です。ここでは、生徒一人一人が自身の興味関心に応じた学びを深めていくことができます。そして、私たちの学校では生徒が「受け身」となる授業ではなく、「発信する」授業を行っています。そのため、自分で考えて行動する力を身につけることができます。



4 質の高い教育を
みんなに



昨年より共学化したことをきっかけに、ジェンダー平等について考える機会が増えました。例えば今年の藤華祭の模擬店で『男女逆転カフェ』を出店するクラスがありました。校内の生徒だけでなく、校外の方にもジェンダー平等について知り、考えてもらうことを目的に、男子

は女子の、女子は男子の制服を着用して接客をしたり校内を練り歩いたりしました。スカート履いた男子というのはもの珍しかったために多くの人の視線を集め、模擬店の方も大盛況でした。

藤華祭だけでなく、体育祭で生徒会男子がスカートを履いてリレーに参加するなど、行事の度にジェンダー平等について考える機会が与えられています。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



6

安全な水とトイレ
を世界中に



美化委員会では校舎や校庭の清掃・美化についての計画をたて、清掃道具の保管についても計画・実施をしています。

また、トイレや水道での水の使いすぎなどを予防するため、ポスターの設置などにも取り組んでいます。トイレ清掃については清掃員の方が朝早くや授業の合間に清掃を行ってくれています。(床掃除やトイレトーパーの補充など)その他にも保健委員会が月に一度、使用する水が安全かどうかの確認として水質検査を行なっています。

7

エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



私たちの生活は大量のエネルギーによって成り立っています。もしエネルギーがなければ、電化製品が使えず、公共交通にも大きな支障が生じ、街から灯もなくなってしまいます。

千代田でも、校内にポスターを掲示し、節電を呼び掛けていく予定です。私たちは限りある資源を世界中の人々とわけあって生きていかなければなりません。節電の意識を持つことが、それにつながると考えています。

2019年度の新入生はSDGsを知るために、入学式直後に行うオリエンテーション合宿で、札幌新陽高校の生徒とSDGsに関わるカードゲーム「2030 SDGs」を行いました。このゲームは今ある問題を解決するためには、どれくらいのエネルギーが必要なのか、それによって地球や自然、今ある環境にどのような害を与えてしまうのかというのが数字として目に見えるようになっているゲームです。

このカードゲームは、SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験でき、SDGsの必要性やSDGsによって起こりうる変化や可能性を理解することができます。



8 働きがいも
経済成長も



千代田には1人デバイス1台という環境があり、ARCには約60台のPC、約30台のタブレットが完備されています。もちろんデバイスを使用した授業もあります。たとえば、情報の授業で、Minecraft、“マイクラ”と馴染まれているソフトを用いた学習やレポートを書くことなどで使われています。デバイスを活用することにより、さまざまなことが学習できるようになりました。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



10 人や国の不平等
をなくそう



現代社会を考える手がかりの一つが「ダイバーシティ（多様性）」です。人種・国家・民族・趣向など、世界には自分とは異なる人がたくさんいます。その人々と持続可能な世界の発展をめざすのがSDGsです。

千代田では建学以来、「異文化理解教育」を通して、自らと異なる人を受け入れることをめざしています。個性を大切に、他者を尊重し、共生することを大切にしているからです。このような取り組みは、いま、盛んに唱えられているグローバル教育のモデルとなるでしょう。



11 住み続けられる
まちづくりを



町や、人々が住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く持続

可能な場所にする。千代田では、Minecraft:Education Editionを授業に取り入れています。プログラミングなどの新しい技術を学ぶと共に、校舎を3D化しその構造を学ぶことによって、改めて建物の安全性や、災害が起こった時の避難経路などについて考えることができました。情報や英語の学習を通じてSDGsやまちづくりについて考える良い機会になったと思います。

私たち生徒会は「都市鉱山から作る！みんなのメダルプロジェクト」という、使わなくなった小型家電からレアメタルを取り出し、それを2020年の東京オリンピックのメダルに使うというプロジェクトに参画しました。

学校説明会などで生徒だけでなく、地域の方々にも協力していただきました。生徒がデザインした回収バックに廃品となった小型家電を校内に設けた回収ブースに持ってきていただきました。最終的に集まったレアメタルの量は3トン、実に金メダル30個分となりました。

12 つくる責任
つかう責任



今、環境省で適温とされている温度は、夏の冷房の温度は28度、冬の暖房の温度は20度だとされています。

千代田で取り組んでいる温度は夏の冷房の温度は、26度～28度で、冬は、20度～24度で決まっています。また、その日の設定温度を表に書きちゃんと守れているかをチェックしています。

環境を守るため校内ではこのような活動をし、13番の問題を取り組み続けていきたいです。

13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを 守ろう



夏の風物詩、海！毎年行くという方もいらっしゃるかもしれませんがね。汚い海で遊ぶなんて嫌ですよ？綺麗な海の方がいいですよ？？？浜辺にゴミを捨てない。ゴミは持ち帰る。海を綺麗に保ちましょう。

それに、海が汚ければ美味しい魚や貝が食べられなくなってしまいます。2019年度の新生はオリエンテーション合宿で鮭の稚魚を放流しました。今後も海の豊かさを守っていきます。

15 陸の豊かさも 守ろう



千代田では、様々な植物が植えられています。ピロティーや聞思堂の周り、事務室の前、集会室の前など、いろんな場所に植物を飾ったり植えたりして、植物を大切にしています。

園芸同好会では校内(南門の近く)に苗を植えたり、植物に水やりをしたりして育てています。今年度は日本文化演習や随意科などで使えるように茶花を購入し、苗を植えました。日本文化演習や随意科の一つでは華道を学んでいます。毎時間、使う植物を教えにきてくださっている講師の方が選んで持ってきてられています。その一つ一つの植物を生徒が丁寧に生けて学んでいます。このように、千代田ではSDGsに基づいて植物を大切にしながらいろいろなことを学んでいます。

聞思堂は、京都にある六角堂を基にしています。六角堂は、親鸞聖人が比叡山から降りて、法然聖人の下に向かうきっかけとなった大切な場所です。親鸞聖人は六角堂にこもり自分を見つめたことでしょう。聞思堂も六角堂と同じように清らかな心で自分を見つめる場所です。礼拝堂として使われており、毎日7時45分からお勤めしています。「聞思」とは聞いて考えるという意味の言葉です。この聞思堂には阿弥陀様がいらっしゃる。阿弥陀様の前で、礼拝をしましょう。



体育祭では 17 番、最後の目標にあるパートナーシップという言葉に注目し、企画を行いました。この企画の目的は「パートナーシップ」の言葉の意味を生徒全員にしっかりと理解してもらい、SDGs への関心を高めるということでした。それを実現するために 2 つのを行いました。まず 1 つ目はポスターの作成。体育祭会場の多くのところに掲示し、生徒の関心を呼びかけました。もう 1 つは応援合戦の実施方法。昨年まで、応援団のパフォーマンスを応援団以外の生徒が見物するだけでしたが、今年からその生徒も一緒に楽しんで参加できるように工夫しました。



体育祭
× SDGs

「SDGs」の取り組みを
全学年一緒に体験し
て学びよう！」

17 パートナーシップで
目標を達成しよう

...パートナーシップはみんなを助けること
...目標達成のために力を合わせる
...みんなで協力して目標を達成すること
...目標達成のために力を合わせること
...みんなで協力して目標を達成すること

例年は応援合戦でみんなで盛り上がることを
目指していましたが、今年は
例年は観客として応援していた生徒も
もって、本校のみならず体育祭を完成させること
を一つに、いざ、挑戦しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
www.sdgs.orip.or.jp



制作

2019年度武蔵野大学附属千代田高等学院

千代田女学園中学校生徒会